

年少児クラスにおける席決めを巡る 個人と集団の変容プロセス

教育実践高度化専攻 児童発達支援コース 幼児教育実践系
氏名 (畔柳 佳奈)

本研究は、おやつ時の席決めを巡って葛藤する A 児を中心とした、人間関係の実相を捉えると共に、その変容に関与する保育者の在り方について明らかにすることを目的とした。席決めを巡って葛藤が見られた 1 月から 3 月 (年少) の 4 つの事例を対象とし、分析を行った。

その結果、席決め場面における保育者の A 児に対する言動が、学級全体の雰囲気には作用すること、A 児の言動によって同級生に影響を及ぼすこと、また、保育者の学級全体に対する声かけが、A 児の言動に影響を及ぼすということが明らかになった。以上の働きかけについてシステムズアプローチを援用して分析した結果、保育者の在り方が、A 児と学級全体の関係性及び、A 児と関与した同級生との関係性を構築及び保持する機能を有することと、A 児の園外での生活を含めた総合的な理解が A 児の言動に影響を与えることが明らかになった。保育者は、様々な関係性や影響力を把握し、瞬時に対応していることが示唆された。